

# とらのもん

- 泌尿器科のご紹介
- カプセル内視鏡が分院に導入されました
- 電子カルテシステムの導入について
- 連携医療機関のご紹介

～八王子乳腺クリニック～



イソギク

基本理念：医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、  
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

## 公開講座のお知らせ

『大腸癌治療の最前線』

消化器外科部長 黒柳 洋弥

日時：10月30日(土) 13:00 - 14:30

場所：分院 管理棟5階 講堂(入場料無料)

※諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。  
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。



# 泌尿器科のご紹介

泌尿器科部長 岡根谷 利一

## はじめに

泌尿器科は尿路性器の疾患を診断治療する診療科ですが、前立腺がん、腎がん、尿路上皮がんなどの悪性腫瘍や、尿路結石、前立腺肥大症などの良性疾患を主たる対象として診療を行っています。以下に代表的な疾患をあげます。

## 対象疾患

### 【悪性疾患】

#### ● 前立腺がん

前立腺がんの増加が著明です。天皇陛下の手術をきっかけとして社会でも前立腺がんは広く認知されるようになりました。男性のがんによる死亡原因の一位は肺がんですが、近日中に二位は前立腺がんになる見込みです。血液を検査してP S Aというタンパクの量を測るだけでかなり診断を絞り込むことができるため、多くの市民検診などでもとりいれられており、無症状の段階で見つかる機会が増えました。

#### ● 膀胱がん

痛みなどが全くないけれども見てわかる血尿が出る、これを無症候性肉眼的血尿といいます。たった1回でもこれがあれば7割くらいの方には膀胱がんが見つかります。また尿は腎臓で産生されて尿管を通過して膀胱に流れてきますが、その経路である腎盂尿管にも腫瘍ができることがあり、性質は膀胱がんと似ています。すなわち尿路に多発し、再発率が高いのが特徴です。

#### ● 腎がん

腎がんは腎に腫瘤（こぶ）を形成し、できる箇所によっては肉眼的血尿を示す場合もありますが、多くの場合には人間ドックなどの腹部超音波検査で見つかります。以前は小さな腎がんでもその腎臓を含めて摘出することが一般的でしたが、最近はいくつか条件が満たされれば腎がんとその周囲の組織を切除し、できるだけ正常部分を残す“腎部分切除”を行うのが一般的になりました。

## 泌尿器科部長

岡根谷 利一 昭和56年卒

<専門分野>

尿路性器悪性腫瘍の集学的治療  
腹腔鏡下手術



<所属学会等>

日本Endourology・ESWL学会泌尿器腹腔鏡技術認定医  
日本内視鏡外科学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡）  
日本泌尿器科学会専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・がん治療暫定教育医  
アメリカ泌尿器科学会（AUA）International member  
日本癌学会、日本癌治療学会、日本小児泌尿器科学会、  
日本老年泌尿器科学会、日本移植学会

## 泌尿器科医長

森川 弘史 平成8年卒

<専門分野>

尿路悪性腫瘍



<所属学会等>

日本泌尿器科学会専門医・指導医

#### ● 精巣腫瘍

比較的若年者に発生する悪性腫瘍ですが、たとえ相当の進行がんであっても適切な診断と治療がなされればほとんどが救命できるようになりました。これは抗がん剤による化学療法法の進歩によるものですが、進行がんは手術、化学療法、放射線治療を組み合わせる必要があります。

### 【良性疾患】

#### ● 前立腺肥大症

50歳前後から前立腺が大きくなることによって尿道が圧迫され、排尿障害を訴えるようになります。尿道抵抗を和らげる薬を飲んでいただき、それでも改善しない場合には手術を行います。ほとんどの場合は内視鏡を用いて行い、開腹手術が必要になることは稀です。切除の方法として電気メスが一般的ですが、レーザーなどを用いる方法もありいずれも一長一短です。

## ● 尿路結石

尿の成分には結晶が含まれますが、これが尿中でなんらかのきっかけで塊を形成したものが尿路結石です。通り道（尿路）につまると、激的な痛みを生じることがあります。小結石の場合は自然排石が期待できますが、大きなものは体外衝撃波による破砕を行います。お腹を切開することが必要になるようなことはほとんどなくなりました。

## 虎の門病院(本院)泌尿器科の特色

平成22年春に部長が交代しましたので、若干の変化があります。最も得意としているのは第1に悪性腫瘍に対する手術、集学的治療、第2に腹腔鏡下手術です。

他施設であまりやっていないものの、多数の実績を有する分野としては膀胱がんに対する膀胱全摘除術に伴う代用膀胱（回腸新膀胱）造設術です。

## ● 代用膀胱（回腸新膀胱）造設術

膀胱を摘出した後に小腸を用いて新たに膀胱（新膀胱）を作成して術前と同様に尿道からの自排尿を可能とする術式です。患者さんにとっては大いに恩恵のある方法と思われまます。膀胱を摘出してほぼ術前と同様の排尿が可能であり、これについては20年前から行ってきましたが、多数の症例で長期間経過してもほぼ良好な状態が保たれることがわかっています。ただし腫瘍の拡がりなどについてある程度の制約がありますので、全ての患者さんに適応になるわけではありません。しかしこういう尿路再建手術があるのを知らない患者さんも医師も多いのは残念なことです。膀胱を摘出したからといって、必ずしもお腹から尿を出して集尿袋を張り付ける必要はありません。

## ● 腹腔鏡下手術

副腎、腎臓や腎盂尿管の腫瘍に対して大きな傷をつけずに内視鏡を用いて副腎、腎臓や腎尿管を摘出するものであり、患者さんにとっては侵襲が少なく術後の痛みも軽度なため大いに恩恵があります。比較的新しい手術術式であり高度な技術が要求されるため、現状では少数の施設で行われているのみですが、術後の疼痛が軽微なことや回復が早いことなどから、条件の合う症例では当科では第

1選択の治療法として実施しています。たとえば腎腫瘍（腎がん）に対する手術では、4～5カ所の傷（5mm、5mm、10mm、12mm、20～40mm）をつけるだけで手術が終了し、4日目には退院可能となります。また副腎では3日目に退院可能となります。従来の方法とは比較にならないほどの差があり、痛みがほとんど気にならないくらいで済み、日常生活にも早く戻れます。

## ● 前立腺がんの治療

前立腺全摘除術も多数の症例を経験してきましたが、通常は自己血も含め輸血は不要です。前立腺がんの手術に関しては術後に尿失禁が残らないようにすることなど、機能面の結果を重視して今のところ腹腔鏡下手術は行わず、下腹部の8～10cmくらいの切開で行っています。限局性前立腺がんに対する小線源治療についてはこれまで岡根谷が国内有数の多数例の治療をおこなってきましたが、現在当院では行っていません。しかし小線源治療やその他の治療法が適応となる場合には、しかるべき施設にご紹介いたします。

## まとめ

手術を中心に書きましたが、治療法は手術だけではありません。またこれ以外にもほとんどの泌尿器科の病気の治療を行っています。なお、治療は治療効果を期待して受けていただくのですが、合併症もしばしば起こることや、どのような方法をとっても必ずしも満足な結果が得られない場合もあることを納得していただいてから受けられることをお勧めいたします。

診療は医療者と患者さんの信頼関係の上に成り立っています。

### 【泌尿器科（本院）外来診療案内】

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	岡根谷 藤岡 安部 森川	黒澤 森川 元島 沖田	岡根谷 黒澤 元島 安部	村田 安部 藤岡	黒澤 藤岡 森川 元島
午後	手術 検査	手術 検査	手術 検査	手術 検査	手術 検査

- ・ 来院の際は、前もって休診の有無を電話で外来に確認の上ご来院下さい。

# カプセル内視鏡が分院に導入されました

分院内科総合診療科（消化器内科）部長 山本 敬

平成22年8月から分院内視鏡室でカプセル内視鏡ができるようになりました。カプセル内視鏡は、今まで検査が困難であった小腸を観察する目的で開発された新しい検査法です。カプセル内視鏡は、全長26mm直径11mmのやや大きめのビタミン剤のカプセルのようなものです（図1）。



△図1：カプセル内視鏡  
飲む直前でライトが  
点滅中▽

カプセル内視鏡は従来の内視鏡に取って代わるものではなく、いままで大変な思いをすることが多かった小腸の検査をただカプセルを飲むだけでほとんど苦痛無く行えるようにしたものです。

従来、小腸は「暗黒大陸」といわれており、内視鏡をいれて調べることのできる範囲はごく限られたものでした。昭和46年に平塚胃腸病院の開設者である故平塚秀雄先生がropeway法を用いて全小腸の内視鏡観察を世界で初めて行うという偉業をなしとげられたのですが、いくつかの難点があり広く普及するにはいたりませんでした。その後も通常の内視鏡を延長した形の小腸内視鏡が行われていましたが、内視鏡の操作性の限界と小腸の解剖学的性質のために、全長にわたって観察することはできませんでした。現在では自治医科大学の山本博徳教授によって開発されたダブルバルーン式小腸内視鏡を用いて全小腸を観察、処置することが可能になり、本院に導入されています。

カプセル内視鏡を飲み込むと約8時間にわたって消化管内の映像が体外の記録装置に電波で送信されます（図2）。飲み込んだカプセルが胃を通過したのがモニターで確認できたら、そのあとは自由に過ごしていただき、所定の時間がきたら病院にもどって記録装置を返却していただきます。カプセルは、通常2～3日程度で便に排出されます。カプセルの排出が確認できたならば、カプセルは各自治体の規定に従ってゴミとして処分していただきます。カプセル

分院内科総合診療科  
（消化器内科）部長  
山本 敬 昭和53年卒



<専門分野>  
消化管疾患（食道・胃・小腸・大腸）  
の診断および治療

<所属学会等>  
日本消化器病学会認定医  
日本消化器内視鏡学会専門医

そのものにデータは保存されていませんし、再利用することはありません。検査担当医は記録装置に保存された約6万枚弱の画像を読影・解析してレポートを作成します。



△図2：カプセル内視鏡で  
見た小腸▽

カプセル内視鏡は「特定保険医療材料」として健康保険の適応になりますが、対象疾患は上部・下部の内視鏡検査で原因が判明しない消化管出血に限られています。カプセルの価格は77,200円で窓口負担が3割の場合は23,160円になります。実際にはさらに読影料がかかりますので30,000円でおつりがくる程度の負担になります。

現在、カプセル内視鏡を大腸をはじめ食道や胃の検査にも使えないか、という研究が世界中でおこなわれています。今後、小腸だけでなく他の消化管がより苦痛無く検査できる可能性がカプセル内視鏡には秘められています。今後の発展にご期待下さい。



△分院内視鏡室スタッフ▽

# 電子カルテシステムの導入について

電子カルテ導入準備委員長 池田 健次

虎の門病院では平成23年1月から、診療の際に電子カルテシステムを導入します。電子カルテとは、従来の「紙のカルテ」とは違って、患者さんに関する記事を「コンピュータにすべて書き入れる電子のカルテ」のことで、紙のページを束ねて本のようなになった今までの形式のカルテではなくなるということです。

電子カルテになると、医師が書き入れていた記事、血液検査のデータ、画像診断のフィルムなど、多くの情報がコンピュータ画面で、いつでもどこでも見ることができます。



複数の診療科を同日に受診するような場合には、今までのように「紙カルテが二つ目の診療科まで届けられるのを待つ」というような手間はなくなります。予約外で急に診療を受けることになった人も、「その人の紙カルテを倉庫から探し出してから診察」ということもなくなります。例えば内科疾患で内科に通院している方が皮膚科にもかかることになった場合に、皮膚科の医師は、内科の医師がどのような診察をしているのかを、いつでもコンピュータ画面で確認しながら診療することができます。開業医さんと紹介先の大病院との連携（病診連携）にも便利であったり、本院と分院の本当の意味での一元化など、さまざまなメリットが期待されています。

このように電子カルテには多くの便利ながあり、最近では大規模病院や大学病院では半数以上が導入しています。このた

び、当院でもこの電子カルテシステムを導入することになりました。

「紙カルテ」から「電子カルテ」への切り替えは、来年1月4日に一斉に行うことになっていますが、病院では1年以上前から委員会や検討会を何度も行って準備を進めてきています。それでも、他の病院での事例からは、導入当初にはさまざまなトラブルが起こることが伝えられています。コンピュータシステムの思いがけない不備であったり、新規システムでの事務作業の不慣れであったり、医師のカルテ記載すなわちコンピュータ打ち込みに時間がかかったり、実例を挙げればきりがなくらいです。



もちろん11月に入ったら全職員に対して、繰り返してこの新しいコンピュータシステムの講習を行う日程も決めてあり、12月には大規模な一斉予行演習も行います。来年1月第1週目～2週目は、外来医師が「コンピュータ入力のみでの診療」に不慣れであることを見越して、外来診察の予約数の制限も行います。

多くの病院が経験してきた事実からみても、電子カルテの新規導入に当たって、患者さんに多くのご迷惑をおかけすることと存じますが、来年1月の新診療システム始動についてご協力・ご賢察のほどお願いいたします。

## 〈院長あいさつ〉

当院は東京の西端にある八王子で開業している乳腺専門クリニックです。2008年7月に開院して以来、乳癌の診断を中心に乳腺の良性疾患（良性腫瘍、産後の授乳トラブル、乳腺炎など）診断、一部治療にかかわる領域や検診を主業務として行っております。

現在、日本では乳癌の発生率は上昇しています。以前に比べ加速的な増加はなくなりましたが、それでも年間5万人以上（約16人中1人に発症）、また乳癌での死亡者数は1万人以上と決して軽視できる病気ではありません。また乳癌の発症年齢は年々若年化し、かかる人の多くは家庭を持たれた方が中心です。

もし、ご家族の方に、また身近な方が乳癌と宣告されたら、あなたはどうかされますか？がんと言われてご本人も含め身内の方々も平常心を保たれる方はほとんどおられないかと思えます。

しかし、乳癌という病気は早期発見と早期治療に持ち込むことで治癒可能な病気なのです。“がんという言葉に怯えることはないのです”正しい知識と定期的なチェックを行う事でがんの予防や早期発見すれば治すことが可能ながんなのです。

がんで苦しむ方を少しでも減らすためには、確実に診断のできる施設にかかることまた確実に治療が行える施設にかかることが重要です。当院では、確実な診断ができ、がんで苦しむ患者様を少しでも減らせるような施設を目指し日々努力しております。また確実に治療のできる虎の門病院と連携をとらせて頂きながらご指導を頂いております。

### 院長 三坂 武温 (みさか たけはる)



#### ● 略歴

- 1993年 金沢医科大学医学部卒業
- 1994年 東京医科大学外科第三講座
- 1995年 牧野記念病院 外科
- 1996年 新座志木中央総合病院 外科  
臨床研究医
- 1997年 東京医科大学八王子医療センター 消化器外科  
臨床研究医
- 1998年 東京都立大塚病院 外科 臨床研究医
- 2000年 東京都がん検診センター 乳腺科
- 2002年 東京都多摩がん検診センター 乳腺科
- 2005年 財団法人労働衛生協会  
高井戸東健診クリニック 乳腺科
- 2008年 八王子乳腺クリニック開設

#### ● 資格・所属学会

- 日本外科学会 認定医
- マンモグラフィ精度管理委員会 読影A資格
- 日本乳癌学会 認定医



〈診察室〉



〈処置室〉



〈待合室〉



〈スタッフのみなさん〉



〈超音波〉



〈マンモグラフィ〉

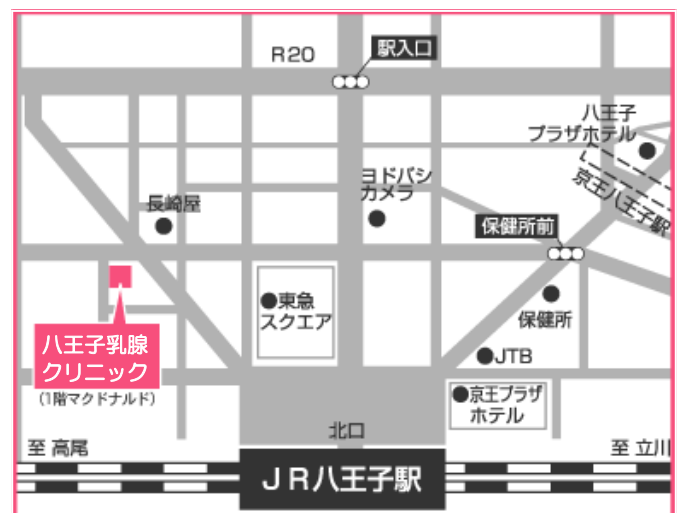
#### 【診療日・診療時間】

時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00～14:00	-	○	○	○	○	-	○
15:00～19:00	-	○	○	○	○	○	-

- 休診日/月曜、土曜（午前）、日曜（午後）、祝日
- ※ 診察は完全予約制となっております。

### 八王子乳腺クリニック

- 住所 東京都八王子市三崎町4-8 篠崎ビル4階
- 電話 042-655-5355
- 交通 JR線「八王子駅」北口 徒歩5分



さて留学も2年目に入った。この一年こそ立派な論文を書き、フランス留学を意義あるものにしなげればと決意した。夏休みが終ってラボラトリーに顔を出したところ、ジャン＝ルイ・グランジャンというフランス人を紹介された。一緒に実験をすることになったが、やっと初めてこの国に仲間入り出来たことを嬉しく思った。

ところで何故か彼の方でも、妙に私とフィーリングが合ったらしい。後で聞くと、彼が風邪を引いて休んだとき、私が親切に家までお見舞いに行ったことに感動したからという。午前中の実験が終わると、モンパルナスで、カフェオレやサンドイッチ・ジャンボン（ハムを挟んだバゲット）などの昼飯を一緒にするようになった。一つ実験が片付けば、また新しいやり方で実験を計画し、どんどんと研究が進んだ。

年度の終わりまでに論文を完成させると、ドクターの称号がとれるし待遇も格上げされる。そのため頑張ろうとしたが、何せ論文の書き方など知らない彼は、いささかめげていたのである。私は日本で学位論文を書いていたので、手伝って上げることを提案した。それからは彼の家に泊まり込み、論文を書き続ける日々になった。やり方としては、まず私が何か文章を口走るが、それを彼がまともなフランス語に直し、私が承認すればその項終わりといった具合。一ヶ月ほどで論文は仕上がった。それから私の論文の番で、ほとんど同じやり方で私も学位論文を書き上げたのであった。

パリ大学医学部の講堂で口頭試問による審査があった。それには当然パスしたので、6月の初め「外人助手」の学位をもらうことになった。学位記は、大学の建物のリトグラフ入りでものものしいもので、サイズは43×56cm（なお日本の学位記は42×30cm）だった。この資格は、フランス属領の研究者などがパリで勉強すれば、あとで現地の助教授や教授に登用されるというフランスの文化政策の一環だったのである。日本人にとっては無用の長物になるのだが、2年間の勉学の証（あかし）にもなって、いい記念だったのであった。

ある日、昼飯後にカルティエ・ラタンを歩いているとき、突然、彼が「あれは僕の祖父だ」と言いだした。驚いて見上げると、そこにはフランス革命の闘士ダントンの立像があった。時代が合わないので私が怪訝な顔を見ると、ダン

トンは母方の5代前の先祖だという。それで彼が理知的で、厳密な論理の人であることを、そのルーツからも知りえたのである。のちに彼はフランス・サールという製薬会社の社長にまで出世した。

彼の両親の家にも招待された。父は農林省の局長級のお偉方で、いささか変人でもあった。夏休みになると、パリは大勢の外国人で溢れかえる。一々道を訊かれるので、住民はたまったものではない。それで父は役所に出勤するとき、肩にカメラをかけてツーリストの振りをしたのだという。

6月に実験も終わり、学位のカタもついた。フランス人はほとんどが長期の夏休みをとるが、その年彼の一家は、大西洋岸ボルドー市の南Hossegorという海浜に別荘を借りた。論文を感謝する気持ちもあったのかも知れないが、そこに遊びに来いと言う。厚かましくも私は、アゴアシ付きの1ヶ月を別荘でフランス人たちと過ごすことになった。日向で肌を焼き、フランス語で駄弁る毎日。寝言までフランス語になったが、文法の勉強を怠けたのでキチンとしゃべれず残念と思ったところで目が覚めた。

ところで研究室には偶然にも名前にジャンがつく男が4人もいた。ご丁寧にも、彼は苗字と名前の両方にジャンがある。家内がフランスから日本に帰国して長男を生んだとき、名前を淳（ジュン）と付けたが、それには記念の気持ちがあったかも知れない。

ところでカトリックは、聖人以外の名前は付けないという。もともと彼の名はジャン＝ルイだが、ジャンヤルイという聖人はいるけれど、ジャン＝ルイという聖人はいない。ジャン＝ポール・サルトルも同じこと。そういった人の名付け親は、お仕着せが嫌いな、いささか反抗的な人だという彼の説には、いささか納得させられた。



〈グランジャン一家と筆者（当時32歳）  
Hossegorの海岸にて〉



〈オデオン広場にある  
ダントンの彫像〉

## 虎の門病院からのご案内

初診時より効果的な診察ができますよう、可能でしたら他病院からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時選定療養費(本院5,250円、分院3,150円)をお支払いいただきます。

### 本院診療受付時間(初診)

内科	8:30 - 10:30
小児科	8:30 - 11:00
皮膚科	8:30 - 10:30
外科	8:30 - 11:00
脳神経外科	月～金 8:30 - 11:00 金 13:00 - 14:30 (紹介状があり予約された方は予約時間に 合わせてお越しください)
麻酔科	月・木 13:00 - 14:30
整形外科	8:30 - 10:30 (紹介状があり予約された方は予約時間に 合わせてお越しください)
形成外科	8:30 - 10:30
産婦人科	8:30 - 10:30 (予約された方は予約時間に合わせて お越しください)
泌尿器科	8:30 - 10:30
眼科	8:30 - 10:30
耳鼻咽喉科	8:30 - 10:30
歯科	8:30 - 10:30

- \* 予約直通電話番号  
 ・ 脳神経外科・整形外科:03-3583-1406(受付時間14:30-17:00)  
 ・ 産婦人科:03-3560-7751(受付時間14:30-16:30)

### 虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2

TEL 03-3588-1111 (代)

地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分

車でご来院の方:有料駐車場があります

(30分:300円 患者さん割引あり)

### 虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1

TEL 044-877-5111 (代)

田園都市線梶ヶ谷駅より徒歩15分

宮崎台駅よりバス5分(1時間に3本)

### さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1

さいたま新都心合同庁舎2号館1階

TEL 048-601-1347

JRさいたま新都心駅 徒歩5分

JR埼京線 北与野駅 徒歩8分

(診療科) 内科・精神科・歯科

平日 午前9:00~11:30 午後1:30~4:00



全面禁煙

当院は敷地内全面禁煙です。ご協力お願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.toranomon.gr.jp>

### 分院診療受付時間(初診)

	午前 8:30-10:30	午後 1:00-3:30
内科総合診療科 (一般内科)	○	○
肝臓内科	週による	週による
血液内科	火	×
糖尿病・代謝科	○	月
呼吸器科	火・木	火
消化器内科	×	水
神経内科	×	×
循環器センター	×	水(第1)
腎センター(内科)	月・火・水・木	月・火・金
腎センター(外科)	月・火・金	×
精神科	×	月・火・木・金
小児科	×	月・水・金
皮膚科	×	火(第2・4) ※午後1時~2時
外科	火・木(第2・4)・金	水・金
整形外科	○ ※月は午前10時~	×
泌尿器科	×	木
歯科	○	○

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

### 人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院付属

健康管理センター・画像診断センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル

TEL 03-3560-7777 (平日11:00~16:30)

ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

### 当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。(完全予約制)

(料金) 30分:21,000円(延長15分毎:10,500円追加)

本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141